

Colaboración del  
Pueblo Japonés

## プロジェクト完成式

2018年2月6日

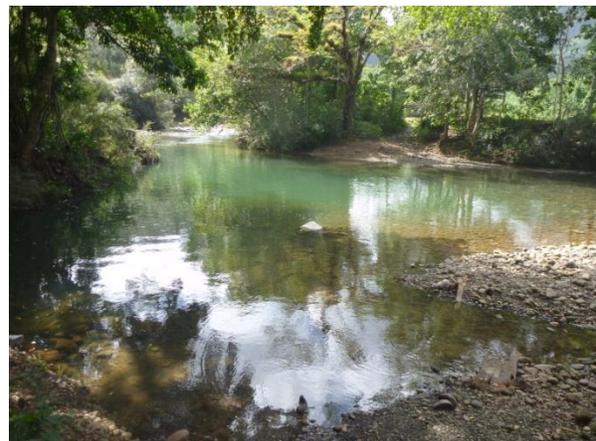
2月6日、グアンタナモ県バラコア市森林公社にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「グアンタナモ県アレハンドロ・デ・フンボルト国立公園における森林・公園管理組織強化計画」の完成式が行われました。完成式には、大野正義参事官が出席し、また、ヒセラ・ペレイラ ドイツ農業運動キューバ事務所代表、サンドラ・カルバジョーサ キューバ農林技術協会グアンタナモ県支部代表らが、プロジェクトの関係者を代表して感謝の辞を述べました。



アレハンドロ・デ・フンボルト国立公園は、キューバ東部のオルギン県とグアンタナモ県にまたがる国立公園です。700 km<sup>2</sup>もの敷地に広がる熱帯雨林には、絶滅危惧種を含む希少な動植物が多数存在し、その豊かな自然と生物多様性から、2001年に世界自然遺産に登録されています。

「グアンタナモ県アレハンドロ・デ・フンボルト国立公園における森林・公園管理組織強化計画」では、ドイツ農業運動(AAA)に対して 85,500 ユーロを供与し、同国立公園の森林管理拠点となるバラコア市森林公社の種子生産施設及び林業生産基礎組織(UBPF)計 6 団体に対し種子生産・収集機材、森林管理業務用機械及び苗栽培・植林作業用資機材を整備しました。

本プロジェクトを通して、国立公園内の森林の回復・保全が適切に行なわれ、生物多様性の保護に貢献するとともに、植林や土壌の管理を通じて、同公園内に居住する約 3,000 人の住民の生活環境の保全に寄与することが期待されます。



案件概要:

案件名: 「グアンタナモ県アレハンドロ・デ・フンボルト国立公園における森林・公園管理組織強化計画」

供与金額: 85,500 ユーロ

被供与団体: ドイツ農業運動(AAA)

概要: アレハンドロ・デ・フンボルト国立公園の森林管理拠点となるバラコア市森林公社の種子生産施設及び下部組織である 5 つのUBPF, また同国立公園を管理するアレハンドロ・デ・フンボルト環境事業組織の下部組織である 1 つのUBPFに対し種子生産機材, 種子収集機材, 森林管理業務用機械及び苗栽培・植林作業用資機材を整備する。それぞれの従業員を主な対象者とし, パンフレットを活用しながら森林・公園管理に関する指導と共に環境保全に対する啓発活動を行う。

